

1 平成30年度FD重点目標について

重点目標：アンケート分析方法の検討、FD研修の効果的な実施、FD実施結果の関係者への公表

目標設定理由：

授業評価については、平成29年度までに全課程における授業評価の実施及び実施結果のフィードバックが実現した。総合課程及び指導員養成訓練全課程の授業評価が一巡し、年度ごとの満足度を比較した結果、授業評価を活用した授業改善の効果が確認されたことより、当該活動は一定の成果をあげたものと考えられるが、今後一層効果を上げるためにアンケート分析方法の見直しを検討することとした。

また、上記活動に加え、教員が主体的にFD活動に取り組み、授業改善を行うためのきっかけづくりが必要である。FD活動は「大学設置基準」により義務付けられており、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとされていることから、FD研修の効果的な実施に加え、FD実施成果の関係者等への公表を行うことを平成30年度の重点目標とした。

2 重点目標に係る実施結果

アンケート分析方法の検討

アンケート分析方法の検討（4～5月）

検討事項：アンケート集計方法について

アンケート項目の見直しについて

結論：アンケート結果を経年比較分析するためにも、設問を変えず複数年継続して実施することが必要である。設問項目のクロス集計等は、職業大においては母数が少ない（1科目20名程度）ため、信頼性を得ることが難しいと考えられる。そのため、現在のアンケート及び集計方法を継続することが好ましい。

FD研修の効果的な実施

・第1回FD研修（12月4日）

テーマ：責任ある研究活動をめざして

講師：国立研究開発法人科学技術振興機構 監査・法務部 研究公正課

主任研究員 永井賢吉 氏 / 主任研究員 畠山靖彦 氏

参加者：130名

・第2回FD研修（12月12日）

テーマ：新カリキュラム 1年生集中実習科目の実践報告～地域研究の設計と実施～

講師：半田純子准教授（国際・地域支援ユニット）

新目真紀准教授（キャリア形成支援ユニット）

村上智広教授（職業能力開発指導法ユニット）

待鳥はる代准教授（国際・地域支援ユニット）

熊谷由里子講師（国際・地域支援ユニット）

参加者：56名

F D実施結果の関係者への公表

- ・ユニット長会議での平成29年度F D実施結果の報告（6月13日）
- ・ホームページへの平成29年度F D実施結果の公開（9月）

3 重点項目以外の実施結果

○総合課程授業アンケートを活用した授業改善

平成29年度総合課程後期授業アンケートの担当教員へのフィードバック及び担当教員へのリアクションシート提出依頼（6月）

担当教員リアクションシート提出（6月）～リアクションシートに基づく改善実施（～3月）

平成30年度総合課程前期授業アンケートの実施（6～9月）

平成30年度総合課程後期授業アンケートの実施（11～2月）

平成30年度総合課程前期授業アンケートの担当教員へのフィードバック及び担当教員へのリアクションシート提出依頼（12月）

担当教員のリアクションシート提出（12～1月）

指導員養成訓練満足度調査・習得度調査を活用した授業改善

平成29年度指導員養成訓練満足度調査の担当教員へのフィードバック及び担当教員へのリアクションシート提出依頼（6月）

担当教員リアクションシート提出（6月）～リアクションシートに基づく改善実施（～3月）

平成30年度前期科目満足度調査（長期養成課程（学域含））の実施（10月）

平成30年度前期科目満足度調査（長期養成課程（学域含））の担当教員へのフィードバック及び担当教員へのリアクションシート提出依頼（12月）

担当教員のリアクションシート提出（12～1月）

平成30年度指導員養成訓練満足度調査・習得度調査の実施（2～3月）

満足度調査

・課程全体（長期養成課程（学域含）、短期養成課程、高度養成課程、職種転換課程）

・後期科目満足度調査（長期養成課程（学域含））

習得度調査（長期養成課程、短期養成課程）

平成30年度総合課程授業アンケート結果（満足度）

・前期

講義科目：91.7%（前年度比：+2.2% 前々年度比：+3.3%）

実習科目：94.1%（前年度比：+1.8% 前々年度比：+2.7%）

・後期

講義科目：92.2%（前年度比：0.1% 前々年度比：±0）

実習科目：94.7%（前年度比：+0.8% 前々年度比：+1.7%）

平成30年度指導員養成訓練満足度調査結果

・課程全体：96.6%（前年度比：3.7% 前々年度年度比：+12.8%）

・科目ごと（長期養成課程（学域含））：前期 82.0% 後期 86.5%

平成30年度より期毎の調査としたため前年度データなし。

平成30年度指導員養成訓練習得度調査結果

・指導力 事前：30.0% 事後：87.8%（伸び：57.8%）

・コーディネート力 事前：29.8% 事後：94.9%（伸び：65.1%）

・キャリア・コンサルティング力 事前：19.7% 事後：90.1%（伸び：70.4%）

・マネジメント力 事前：3.0% 事後：89.0%（伸び：86.0%）

・技能・技術力 事前：12.9% 事後：94.6%（伸び：81.7%）

F D委員会の開催（全2回：平成30年5月24日、平成30年11月29日）

F D推進月間の実施（12月）

内容：オープンクラスの実施、F D研修の実施（2回）

4 平成30年度総括及び令和元年度の課題・検討事項

【平成30年度総括】

重点目標については、各目標に対して上記2により確実に実施したことから、目標は達成できたものとする。

重点目標以外においても、授業評価を活用した授業改善の他、12月をF D推進月間と位置付け、重点目標である「F D研修」の実施に加え「オープンクラス」を実施することで、教員の主体的な教育活動の奨励に努めた。

【令和元年度の課題・検討事項】

指導員養成訓練 短期養成課程指導力習得コースの授業アンケート実施

授業評価を活用した授業改善については、上述のとおり一定の効果が見られているため引き続き当該アンケートの実施及び教員へのフィードバックを継続し、授業改善に努めたい。アンケートの実施については本年度検討したとおり、現在の方法を継続してゆくこと

になる。なお、令和元年度は短期養成課程において新たに指導力習得コースが設置されるため、当該コースの授業アンケートを確実に実施する必要がある。

新規採用教員に対するFD研修プログラムの検討

本年度においては重点目標として2回の「FD研修」を実施したが、今後は、教員が自己のキャリアにおいて継続的にFD活動に取り組めるよう長期プランに基づく研修内容策定を検討したい。第一段階として、令和元年度は新規採用された教員に対する「FD」の実施について検討し、令和2年度からの開始を目指したい。